

《担当者名》松本望 nozomim@hoku-iryo-u.ac.jp

**【概要】**

ソーシャルワーク実践に不可欠な社会福祉調査について、その意義と目的、歴史、社会調査の種類や方法、結果の見方、伝え方について、実際にパソコン操作をしながら理解を深める。

**【学修目標】**

- 社会福祉調査の意義と目的について理解する。
- 社会福祉調査と社会福祉の歴史的関係について理解する。
- 社会福祉調査における倫理や個人情報保護について理解する。
- 量的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。
- 質的調査の方法及び調査の結果について適切に理解する。
- ソーシャルワークにおける評価の意義と方法について理解する。

**【学修内容】**

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション、社会福祉調査の意義と目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉調査の意義や目的について理解し説明できる。</li> <li>・ソーシャルワーク実践の可視化、理論化、ソーシャルワークの価値や倫理と社会福祉調査の関連について理解し説明できる。</li> </ul>	松本
2	社会福祉調査の意義と目的、社会福祉調査における倫理と個人情報保護、ソーシャルワークにおける評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的統計と政策決定、統計法の概要について理解し説明できる。</li> <li>調査をする上での倫理的配慮について理解し説明できる。</li> <li>・ミクロ・メゾ・マクロレベルにおける実践の評価、根拠に基づく実践（EBP）とナラティブに基づく実践（NBP）について理解し説明できる。</li> </ul>	松本
3	ソーシャルワークにおける評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践、プログラム、政策の評価、過程（プロセス）、結果（アウトカム）、影響（インパクト）の意味を理解し説明できる。</li> <li>・シングル・システム・デザイン、実験計画法、質的な評価法について理解し説明できる。</li> </ul>	松本
4	社会福祉調査のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理論と調査の関係、演繹法と帰納法、因果関係、内的妥当性について理解し説明できる。</li> <li>・社会調査の目的と対象について理解し説明できる。</li> </ul>	松本
5	社会福祉調査のデザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サンプリング、調査の種類、問の設定、概念化・操作化、対象と方法の選択、データ収集、分析、考察について理解し説明できる。</li> </ul>	松本
6	量的調査の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>量的調査の概要、調査の種類、配布と回収について理解し説明できる。</li> </ul>	松本
7	量的調査の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・量的調査の実践（質問紙調査の作成）、ワーディングとその他の留意点について理解し実際に質問紙を作成することができる。</li> </ul>	松本
8	量的調査の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査後の集計について理解し実践できる。</li> </ul>	松本
9	量的調査の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・量的調査の分析手法の特徴について理解し説明できる。</li> <li>・図表の特性を理解し、調査結果に適した図表にまとめることができる。</li> </ul>	松本
10	量的調査の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・量的調査の企画、調査の依頼、質問紙の作成、配</li> </ul>	松本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		布・回収、集計・分析のそれぞれの留意点を理解し、量的調査の計画を立てることができる。	
11	質的調査の方法	・質的調査の概要、調査方法の特徴について理解し、説明できる。	松本
12	質的調査の方法	・質的調査の分析方法について理解し説明できる。	松本
13	質的調査の方法	・量的調査の企画、調査の依頼、質問紙の作成、配布・回収、集計・分析のそれぞれの留意点を理解し、量的調査の計画を立てることができる。	松本
14	社会福祉調査のデザイン	調査の種類とそれぞれの留意点を理解し研究計画を立てることができる。	松本
15	社会福祉調査のデザイン 全体のまとめ	調査の種類と発表方法の留意点について理解し、発表することができる。 これまでの講義の振り返りを行い、キーワードの意味を理解し説明できる。	松本

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

レポート課題20%、定期試験80%

【教科書】

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編）：『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座5 社会福祉調査の基礎』、中央法規出版、2021年。

【備考】

この科目は、社会福祉士国家試験受験資格取得のための「社会福祉調査の基礎」に該当する。また、介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「人間と社会」の教育内容「社会の理解」の選択科目に該当する。

【学修の準備】

講義で習ったキーワードを復習し理解を深める（60分）  
 講義の内容を復習しながらレポートを作成する（60分）  
 量的調査の研究計画を立てる（60分）  
 質的調査の研究計画を立てる（60分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,3